

スカモビ・チャレンジネットワーク の活動状況について（中間報告）



2021年1月25日

事務局

ヨコスカ×スマートモビリティ推進協議会(半年に1回)

【会長】 中村 文彦 横浜国立大学 教授 【役割】 スカモビの戦略・ビジョンに関する協議 等
 【ポイント】 プロジェクト報告時には、実施主体や関係自治会長様などにも参画頂き、現場の声を聞く
 随時、MaaS分野の外部有識者(例: JCoMaaSなど)もアドバイザーとして参画頂く

(新設)プロジェクト社会展開TF(随時)

【主査】 越塚 登 東京大学大学院 情報学環 教授 【副主査】 梶田 佳孝 東海大学 土木工学科 教授
 【役割】 スカモビの戦略・ビジョン案の検討(プロジェクトの企画・連携、地域との連携、イベントの企画など)
 【ポイント】 宣言に対応したビジョンを具体化し、既存PJやチャレンジNW等との連携・支援方策を具体化

企業・
大学等

地域
住民



プロジェクトマネージャー: 創業・新産業支援課

プロジェクトA

- 地元調整等への協力
- 役所への規制緩和要望

プロジェクトB

- 実証企画立案への協力
- データ基盤に関する検討

プロジェクトC

- 実証企画立案への協力
- 費用負担に関する検討

※PJ毎に協議会を設置するイメージ

スカモビチャレンジ・ネットワーク(2カ月に1回)

【メンター】 有吉 亮 横浜国立大学 特任准教授

【役割】 (ニーズオリエンテッドな)新規実証プロジェクトの創出、企業等とのネットワーキング



【活動】 AND ON 品川を拠点とした各種イベント(既存PJとのミートアップ、アイデアソン等)の企画・運営

(新設)横須賀アイデア発掘ツアー(年に1回程度)

【役割】 ベンチャー等の企業に実際に横須賀の課題等を体験してもらい、アイデア発掘+アイデアソンを実施





運営主体 KEIKYU 京急電鉄 SAMURAI INCUBATE hitokara media

品川駅徒歩6分、高輪ゲートウェイ駅 徒歩6分

唯一のMaaS拠点



- モビリティ変革・MaaSに特化したオープンイノベーション拠点

体制

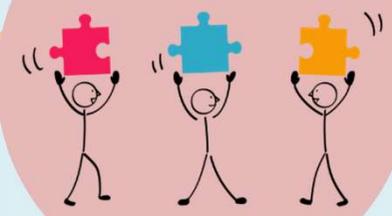
交通事業者
ベンチャーキャピタル 施設運営事業者



- ベンチャーキャピタルがいる体制



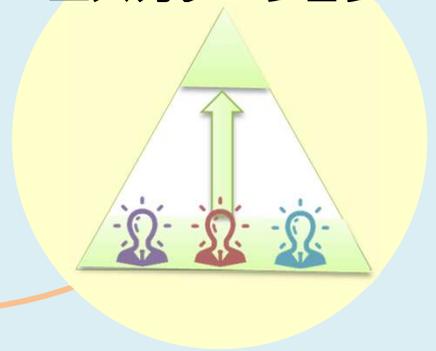
既存PJとのミートアップ



横須賀市課題解決 アイデアソン

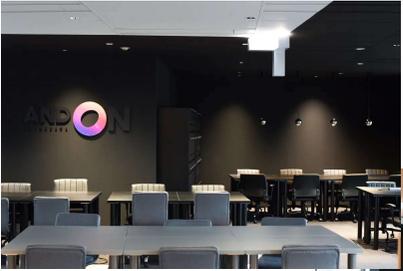


京急アクセラレータP等への エスカレーション



特にベンチャーや大学等の多様なプレーヤーとの事業共創に繋げる

ワークスペース



ミートアップの様様



イベントスペース



【引用】
<https://and-on.keikyu.co.jp/>

2020年度の検討の動き

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
<p>推進協議会</p>	<p>● 7/20 第6回</p>	<p>・2019年度の活動報告 ・2020年度活動計画(案)に関する協議</p>					<p>● 1/25 第7回</p>	
<p>プロジェクト社会展開TF</p>		<p>個別ご相談等 →</p>			<p>● 10/1 第1回</p>	<p>● 10末 第2回 (メール審議)</p>	<p>● 12/24 第3回</p>	<p>● 1月上旬 第4回 (メール審議)</p>
<p>実装ビジョン</p>	<p>基本的考え方の整理 →</p>							
<p>プロジェクト支援・連携</p>	<p>コロナ禍を受けての都市像の検討 →</p>							
	<p>コロナ禍で後ろ倒し</p>							
	<p>→ 実証プロジェクト</p>							
<p>スカモビチャレンジネットワーク</p>		<p>コロナ禍で後ろ倒し →</p>			<p>● 10/14 第1回 (Webセミナー)</p>		<p>● 12/23 第2回 (Webセミナー)</p>	

第1回スカモビ・チャレンジネットワークセミナー

日時: 2020年10月14日(水) 17:00~18:30

実施方法: Webinar (Zoom)

概要: スカモビ・チャレンジネットワークの活動概要、今後の進め方等について紹介

プログラム等

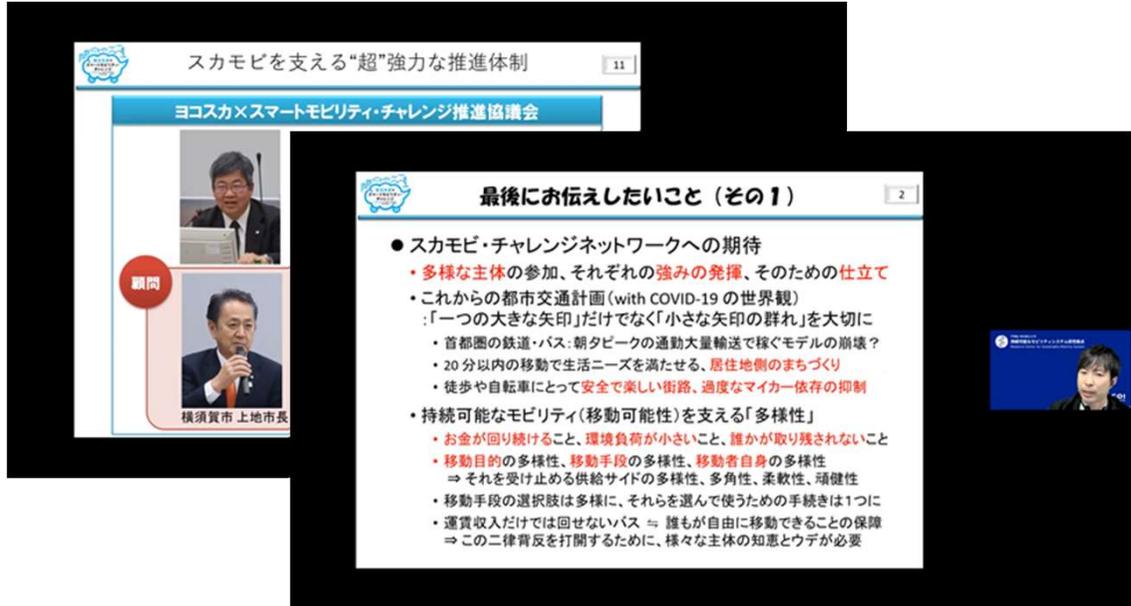
1. 開会ご挨拶
有吉 亮 横国大 特任准教授
2. 議事
 - (1) ヨコスカ×スマートモビリティチャレンジの紹介
 - (2) イノベーション拠点(AND ON 品川)について
 - (3) スカモビ・チャレンジネットワークの進め方について

イベント模様

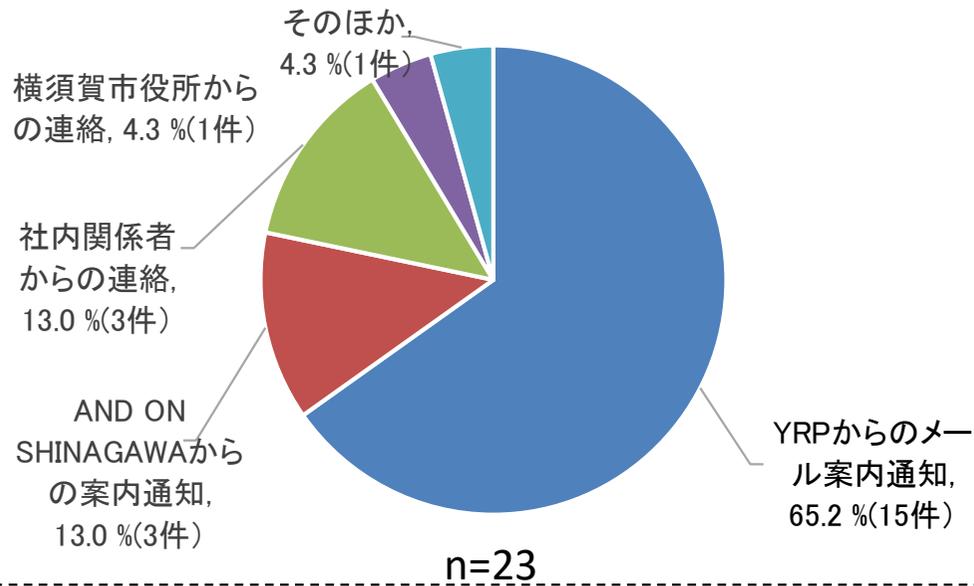
申込数: 68名

参加者: 52名(参加率: 約77%)

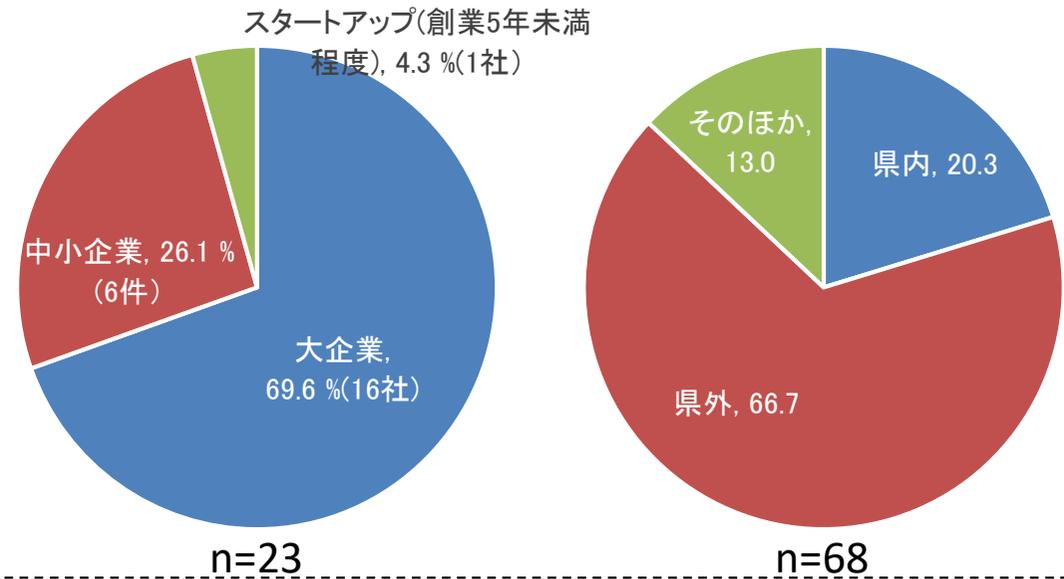
アンケート数: 23件(回収率: 約44%)



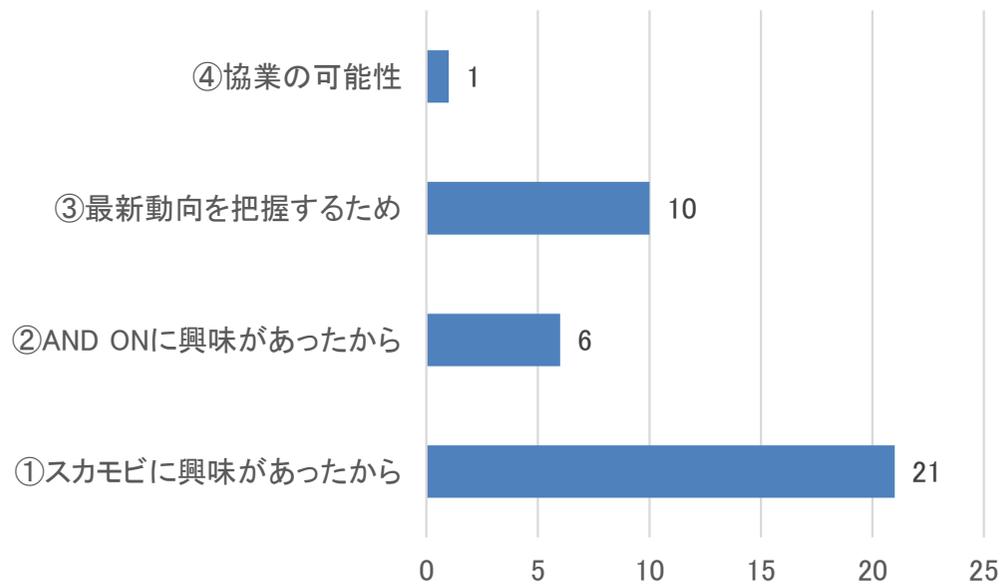
質問1: セミナーを知った媒体



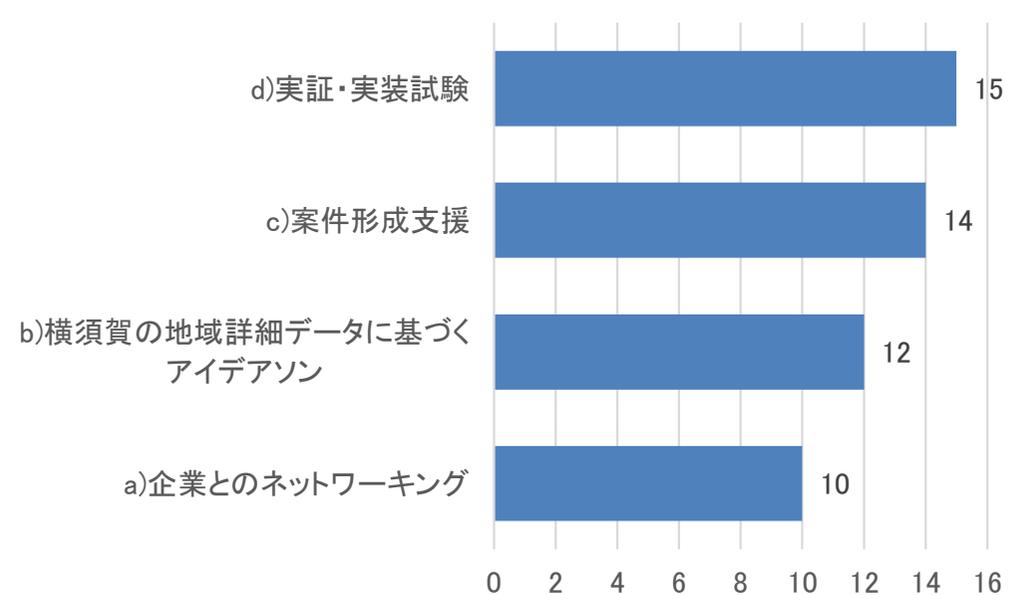
質問2: 会社規模と所在地内訳



質問3: セミナー参加目的



質問4: 期待する・参加したい活動



第2回スカモビ・チャレンジネットワークセミナー

日時: 2020年12月23日(水) 17:00~19:00

実施方法: Webinar (Zoom)

概要: 先進MaaS事例(楽天・ドローン/UGV)の説明、令和3年度政府関係施策の紹介

プログラム等

1. 開会ご挨拶
有吉 亮 横国大 特任准教授
2. 議事
 - (1) スカモビ・チャレンジネットワークについて
 - (2) スカモビ先進MaaS事例紹介(楽天・ドローン/UGV)
 - (3) 政府におけるスマートモビリティ・シティの取組

イベント模様

申込数: 61名
参加者: 42名(参加率: 約69%)
アンケート数: 20件(回収率: 約48%)

ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ × AND ON 第2回

スカモビ・チャレンジネットワークセミナー

～先進MaaS事例(×楽天さま)ネットワークング～

12月23日 水 17:00-19:00

0. 開会
 メンター: 横浜国立大学大学院 特任准教授 有吉 亮

1. スカモビ・チャレンジネットワークの活動について
 説明者: 横須賀市 創業・新産業支援課 担当課長 高橋 信一郎
 京浜急行電鉄(株) 新事業企画室 課長 須藤 一樹

2. スカモビ先進MaaS事例紹介
 説明者: 楽天(株) ドローン・UGV事業部 事業開発G マネージャー 今野 友太郎

3. 政府におけるスマートモビリティ・シティの取組紹介
 説明者: 関東総合通信局、関東経済産業局、関東運輸局

スマートモビリティチャレンジプロジェクト

- 新たなモビリティサービスの社会実装を通じた移動課題の解決及び地域活性化を目指し、地域と企業の協働による意欲的な挑戦を促すプロジェクト「スマートモビリティチャレンジ」が国・自治体・経済産業省で令和元年4月より開始
- スマートモビリティチャレンジ推進協議会(国・自治体・企業等)の情報共有促進プラットフォームver1.0を作成。

地域・事業者の定

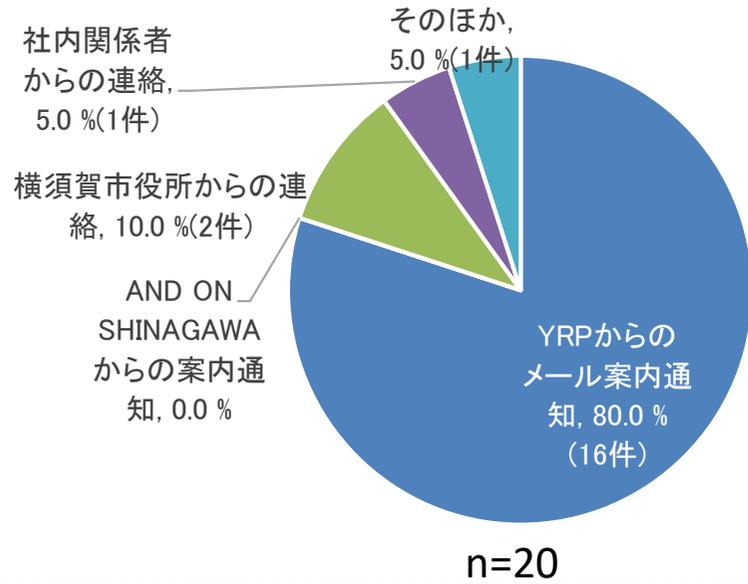
「スマートモビリティ」
情報共有、地域・事業者マツ

ニーズに 対応した支援 ↑ ↓ フィールド研 データ共有 成果報告

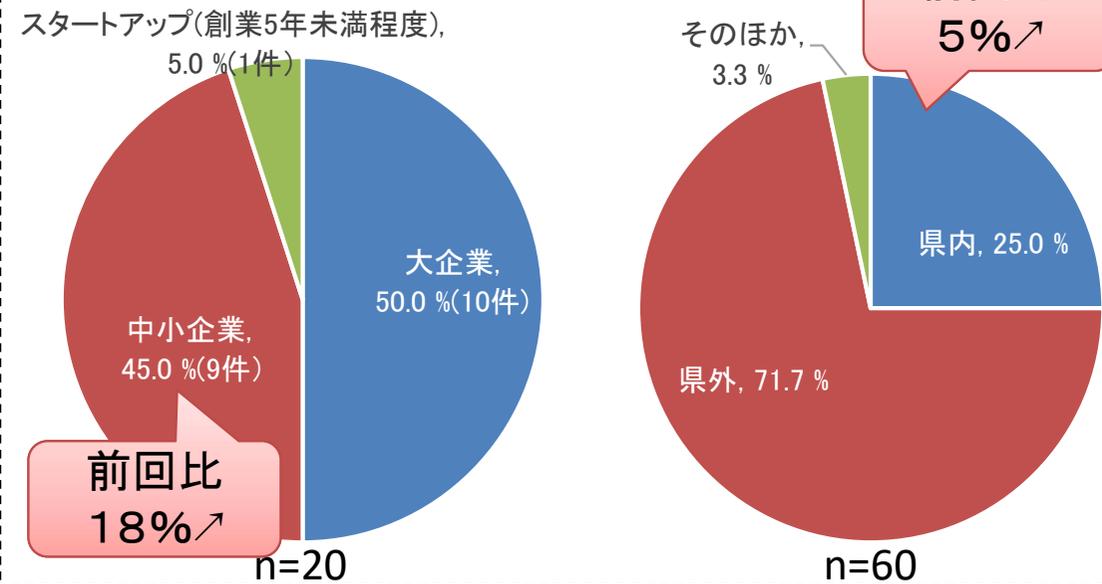
日本版 MaaS 推進・支援事業 (国土交通省) | 地域新MaaS 創出推進事業 (経済産業省)

無人ソリューションで
新たな産業革命を起こす

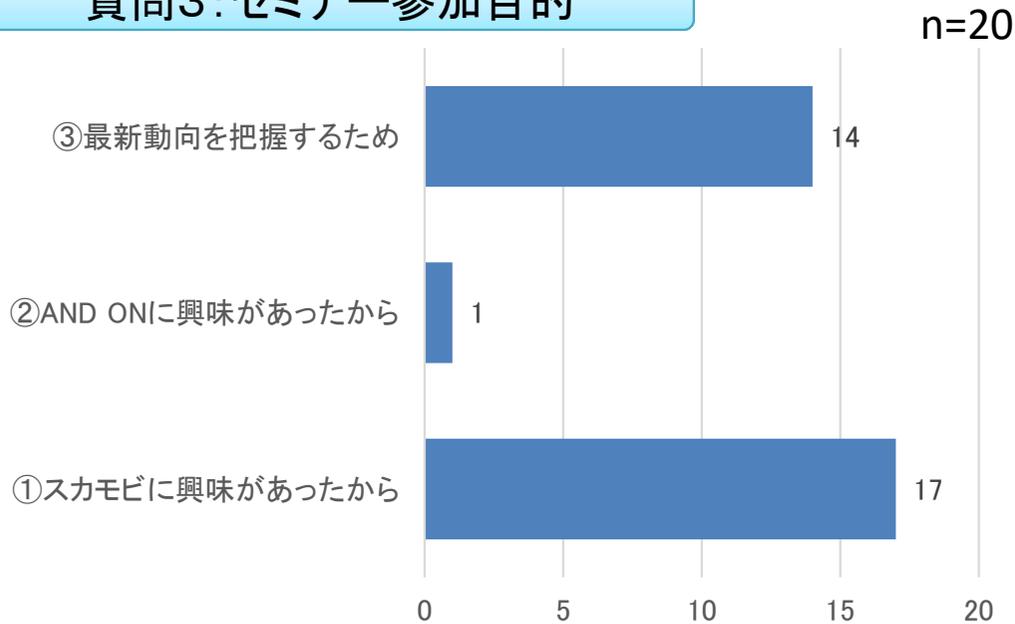
質問1: セミナーを知った媒体



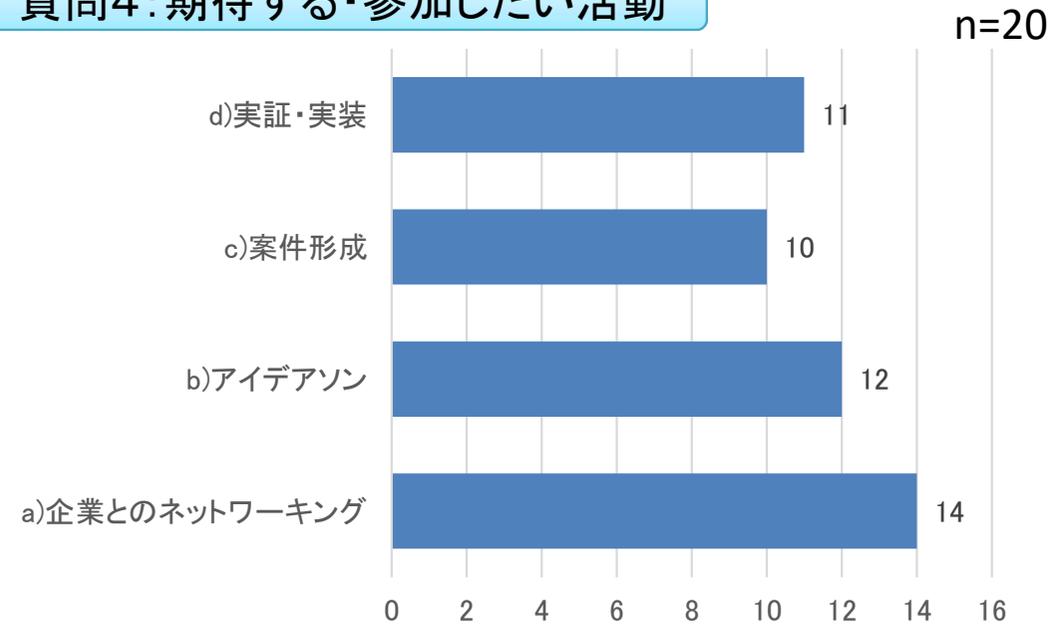
質問2: 会社規模と所在地内訳



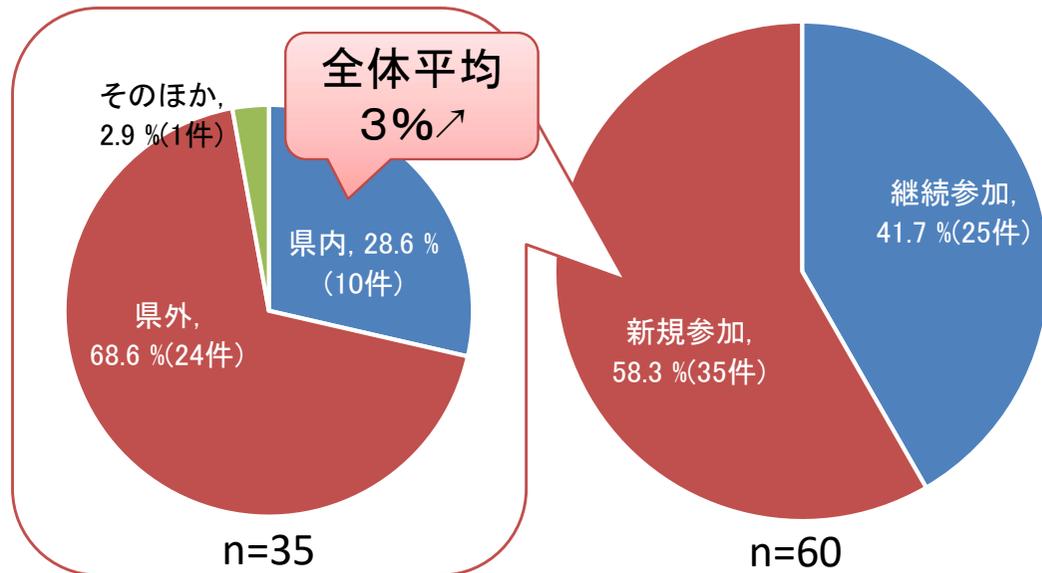
質問3: セミナー参加目的



質問4: 期待する・参加したい活動



参加者の多様化



参加のべ人数

(令和3年1月時点)

94人

入会者数

(令和3年1月時点)

16人

今後の課題①: セミナーの目的・構成

- 情報過多にならないようテーマを絞って実施すべき
- 既存PJと繋げるより、興味のある人を集めてくることに注力すべき

今後の課題②: 入会者数の増加

- 入会のインセンティブ付与について具体化が必要
- 入会の手続きの簡素化(現状はメールで登録)が必要